



## 正しく活用を

校長 長井 佐智夫



まだまだ寒い日が続きますが、まもなく節分を迎え、あちらこちらで春を感じる機会が訪れるのを楽しみに待ちたいと思います。

3学期も早くもあと2か月足らずとなりました。2月4日には授業参観でお子様の学校での様子をご覧いただきます。新学年に向けて学年末のまとめをしっかりと行っていきます。

1学期に明石市教育委員会が実施した「ケータイ・スマホアンケート」(4年生以上)の明石市及び本校の結果・分析の一部をお伝えします。



## 【明石小(4年生以上)の状況(%)】

①自分の携帯電話を持っていますか	持っていない 44	ガラケー(キッズケータイ) 24	スマホ 28	両方 4	
②学校から帰って家で一番長くするものは何ですか	ネット(SNS/動画/ゲーム等) 41	テレビ 17	遊び 15	勉強(含オンライン学習)・読書 27	
③一番ネットを利用するのはどれですか	スマホ 22	ゲーム機 33	テレビ 18	タブレット 20	パソコン 7
④ネットで一番よくすることは何ですか	動画視聴(YouTube等) 55	オンラインゲーム 30	SNS 4	勉強・読書 11	
⑤ネット上でのけんかやトラブルの経験はありますか	一度もない 83	一度 8	少し 6	多数 3	
⑥会ったことがない人とネットでやり取りはありますか	一度もない 71	一度 11	少し 7	多数 11	
⑦ネットに夢中になっていると感じることはありますか	ある 54	ない 46			
⑧ネットで困ったら保護者に相談しますか	する 93	しない 7			

本校の結果を市内平均値と比較したところ、どの設問にも大きな差異はありませんでした。しかし、設問⑤⑥⑦のネット上での人との関係やネット夢中度については、これ以上増加しないよう注視する必要があります。また学年が上がるほど高い数値となっています。以下の市教委の分析を参考にさせていただけたらと思います。



## 【本調査の分析(明石市全体)】

○**ルール**の存在 家庭におけるルールは子どもたちの利用に大きく影響することが明確になった。ルール作りは危険や間違った使用の抑止力となる可能性がある。

〈結果〉「家庭のルールの有無」と「ネット上でトラブルの経験がある児童」の関係  
 ・「人が嫌がることを投稿しないルール」がある児童 17% ない児童 24%  
 ・「個人情報を投稿しないルール」がある児童 18% ない児童 23%

○**保護者が相談相手として機能** 「ネットで困ったら保護者に相談する」と回答した児童の方が危険につながる使用の割合が低く、ネットについて保護者と相談できる関係性を構築することで安全な利用を助長する。

〈結果〉「保護者に相談する・しない」と「ネット上トラブル・会ったことがない人とのやり取りがある児童」の関係  
 ・ネット上トラブル経験あり…保護者に相談する児童 16% しない児童 40%  
 ・会ったことがない人とやり取りあり…保護者に相談する児童 34% しない児童 68%

『心が動いたことを三十一音で表そう』

国語科の学習で感動したことや印象に残っていることなどを短歌で表現しました。

冬の空 まどから見える 無数の星 ほう石何個 あるのだろう

けしゴムよ せばけすほど けしかすが たくさんでてき 君のくんしょう

ぼくは春 桜を見ながら お弁当 笑顔いっぱい とても楽しい

明け方に 共にかがやく 雪どけは 心にのこる 景色の一つ

冬休み こたつは危険 大きな口 開けて入れば もう動けない

なわとびを 飛んでみたらね 青空に かけ上がりそな 縄と自分

ストーブ前 ねこがのんびり ねているな 今年も自分も のんびりいこう

初詣 家族みんなで 外へ行く 息白くなり 母をみつめる

おせちの中 母の心が にじみ出る やさしい味に 心ぬくもりけり

はらはらと 冬の空舞う 雪の子が なみだ流して 消えてゆくよう

ふりかえり 笑顔の実みて 夢をみる 花びらの道 ねむりについた日

木の上で そっと見上げた 冬の空 手とおそろいの まっかな画用紙

こごえる日 こたつにもぐり あたたまる ひざをまじえて ホットと一息

雪の日は 「カイロいるね」と 言ったとき ポケット入れて 寒さに負ける